

重点的に取り組む目標	評価項目	評価指標及び評価結果					総括評価	コメント 評価結果に関する説明・意見等	
		基準	取組指標	取組	基準	成果指標			成果
子ども同士の間関係づくり ともに成長できる関係づくり 園児との関わり	子ども同士の間関係づくり	1	誠実 まごころ 相手の心にふれることができるよう、 臨機応変に対応する	3.2/4.0	1	相手の心にふれる	2.7/4.0	3.7/5.0	<p>一人ひとりの子どもたちの個性を尊重し、それぞれの成長に合わせて丁寧な保育を心がけている。特に、子ども同士の間関係を深めることを重視し、集団での遊びや活動を通して、協調性や思いやりの心を育むための取り組みを積極的に行っている。</p> <p>しかし、子どもたちの間でトラブルが増加していることや、経験の浅い教員が対応に苦慮しているといった課題も抱えている。子どもたちの間で意見の対立が生じた際に、どのように対応すべきか、という点が大きな課題となっている。</p> <p>今後は、子どもたちの心の成長をより深く理解し、個別の支援を強化していくとともに、子ども同士の間関係を多角的に捉え、より良い関係性を築けるよう工夫していくことが必要である。</p>
		1	智慧 かしこさ 子ども一人一人を認める		1	自分の気持ちを表現する			
		1	意志 たくましさ 肯定的な言葉を掛ける		1	チャレンジ精神が育まれる			
		1	慈愛 やさしさ 安心して過ごすことができる 環境づくりを心掛ける		1	友達の存在によるこびを感じる			
	保護者との連携	1	誠実 まごころ 子どもの話を共有し、共に成長を見守る	3.1/4.0	1	伸び伸びと過ごす	2.7/4.0	3.6/5.0	
		1	智慧 かしこさ 園と家庭が一体となり、保育を展開する		1	遊びが豊かになる			
		1	意志 たくましさ 保護者と情報を共有し、子どもの経験をサポートする		1	愛されていることを実感する			
		1	慈愛 やさしさ コミュニケーションを通して家庭との連携を深める		1	保育者に心を寄せる機会になる			
	園児との関わり	1	誠実 まごころ 愛情をもって一人一人に寄り添う	3.2/4.0	1	人の温もりを感じ、相手への思いやりを育む	3.0/4.0	4.3/5.0	
		1	智慧 かしこさ 保育者自身が感情豊かに表現する		1	自分の気持ちに気づく			
		1	意志 たくましさ ありのままの存在を受け止める		1	安心できる居場所を見つける			
		1	慈愛 やさしさ 基本的な生活習慣を伝える		1	元気いっぱい遊ぶ			

重点的に取り組む目標	評価項目	評価指標及び評価結果					総括評価	コメント 評価結果に関する説明・意見等	
		基準	取組指標	取組	基準	成果指標			成果
ひとりの気づきをみんなの財産に	保育関係を語り合う	4	こまめに声を掛け、他の職員の様子を気にかける	3.0/4.0	4	園生活を安心して過ごす事ができる	1.7/4.0	3.0/5.0	<p>自己評価の結果、教員間のコミュニケーションには、より改善すべき点があることが明らかになりました。異学年の先生との交流が不足していたり、日々の保育の中で感じた疑問を共有する機会が少ないなど、情報交換が十分に行われていないケースが見られた。また、報告や連絡、相談がスムーズに行えず、問題発生時に対応が遅れることもあった。これらの課題を解決するためには、教員間のコミュニケーションの機会を増やす工夫が必要である。お互いの意見を尊重し合い、協力し合えるような環境づくりが重要である。コミュニケーションも量だけでなく質も大切で、定期的なミーティング、ペアやグループでの活動が、保育の質の向上となって見えてくる関係づくりの機会にしたい。</p> <p>教員が安心して意見交換できるような、心理的に安全な環境づくりも必要である。そのためには、互いの意見を尊重し、批判ではなく建設的な意見交換ができるような雰囲気作りが大切である。</p>
		3	些細な事でも報告連絡相談をする		3	ケガやミスが減り、子どもが安全に過ごす事ができる			
		1	語り合いやすい雰囲気作りをする		1	関わりを統一することで子どもが安定する			
		1	話し合いの場を設ける		1	情報を共有し、安心感を抱く			
	子育てを語り合う	4	気軽に話ができる関係を作る	2.7/4.0	4	心安らぐ場所になる	2.3/4.0		
		3	笑い合える場になる		3	会話を通じて、親子の関係が深まる			
		2	温かい雰囲気作りをする		2	親子共に友達の輪が広がる			
		1	集まる場を設ける		1	存在を身近に感じる			

あかつき幼稚園 令和6年度 活動概要

月	日	活 動
1 学期		
4	1	補任式
4	4	預かり保育開始
4	8	一学期始業式
4	10	入園式
4	15	個人面談（～19）
4	23	父母の会総会
4	24	給食開始
5	7	たんぼぼ組登園開始
5	8	保育参観（年少8、年中9、年長10）
5	22	入園進級写真
5	24	歓迎遠足（いとうづの森公園）
5	29	内科検診・歯科検診
6	5	貴船小学校芋の苗植え
6	7	どろんこ遊び（年長）
6	10	降誕会仏前礼拝（本堂 避難路確認）
6	20	年長田植え
6	21	避難訓練
6	28	水浴開始
7	5	たんぼぼ組保育参観
7	19	終業式
7	24	年長夏季保育
7	26	ミニ同窓会(R4卒園児)

月	日	活 動
2 学期		
8	30	始業式（台風のため中止）
9	5	年少保育参観（5日）
9	13	年長 かかし立て
9	20	ちびっ子マーケット
10	9	音楽リズム発表会（年中）
10	10	音楽リズム発表会（年少）
10	11	音楽リズム発表会（年長）
10	18	納涼ごっこ（8/29より延期）
10	24	年長 稲刈り（岡田四郎氏協力）
11	1	入園願書受付開始
11	5	秋の遠足（若松 芋掘り）
11	18	貴船小芋掘り（年長）
11	30	第72回運動会
12	4	おとまり保育（年長）
12	9	個人面談（～13）
12	13	お餅つき
12	20	終業式
3 学期		
1	8	始業式
1	17	避難訓練
1	27	仏前礼拝 報恩講 浄念寺

月	日	活 動
1	31	卒園終了写真
2	2	節分の豆まき
2	20	生活発表会（ムーブ）
2	27	貴船小出前授業
3	6	ピザづくり教室
3	7	年長園外保育（勝山公園）
3	15	卒園式
3	19	修了式
研修会		
6	19	もみじ組研究保育 10
6	27	第1ブロック研修会 2
6	27	九州地区設置者園長研修 1
7	8	夕方オンラインセミナー 2
7	12	連盟特別支援教委育研修会① 2
7	29	連盟教師研修大会 10
8	5	第1ブロックサマー研修会 5
8	28	連盟学校評価アドバイザー研修 2
9	13	連盟特別支援教委育研修会② 2
10	11	連盟特別支援教委育研修会③ 2
10	15	第1ブロック教職員研修会① 3
10	28	全日私幼設置者園長研修会 1
11	14	スーパービジョン研修① 1

月	日	研修会
11	21	第1ブロック教職員研修② 2
11	26	連盟人権教育研修会 2
1	22	第1ブロック教職員研修③ 2
1	23	県協会園長設置者研修会 1
1	27	連盟経営研修会 1
2	25	連盟乳児保育研修会 2
3	25	連盟春期研修会 9

新採幼稚園教諭研修会等		
4	9	教育センター新採研①
5	16	教育センター新採研②
7	23	教育センター新採研④⑤
7	24	教委センター新採研④⑤
11	26	教育センター新採研⑥
2	14	教育センター新採研⑧

幼児教育センター巡回事業		
月	日	活 動
4	15	幼稚園訪問
10	22	推進員巡回相談
10	24	推進員巡回相談

仏前礼拝を毎週月曜日開催（行事直前は除く）、英語教室を年間10回、トランポリン教室を全学年（クラス・グループ）で年間50回程度実施

2024 年度あかつき幼稚園学校関係者評価

あかつき幼稚園の学校評価は、教諭による別紙自己評価自己点検表と活動報告を示し、総括として以下をご報告いたします。

○あかつき幼稚園の教育目標

「一人一人が大切にされ、互いを認め合い育ち合う子どもたち。
浄土真宗の人間観と世界観の実現を目指す。」

智慧 かしこさ 誠実 まごころ 意志 たくましさ 慈愛 やさしさ

○あかつき幼稚園の 2024 年度

若い教員集団で幼児教育を展開しています。私たちの教育の柱である建学の精神と日々の保育のつながりを再確認しなくてはなりませんでした。

また、北九州市のサポート園に登録し要支援児の受け入れを進めています。ひとりひとりの子どもたちの成長を支えるために、保育者同士が経験と学びを共有し、家庭との連携を深めることを大切にしなが保育を進めてまいりました。

幼児教育保育の質を高めながら、特別支援教育の充実、幼稚園教諭の働き方改革、保育現場へICT導入、家庭との連携等々、目指す方向は多方面にわたります。

私たちの課題を枝と見立て、伸ばす方向は数多くあるのは事実です。しかし、今年のテーマは枝をしっかりと支える太い幹の重要性に眼差しを向けることができたと思っています。

○今年度の目標と評価項目

評価項目 1

ともに成長できる関係づくり

- 1) 子ども同士の関係づくり
- 2) 保護者との連携
- 3) 園児との関わり

教育目標の四つの視点を活かした基準を設定しています。

評価項目 2

ひとりの気づきをみんなの財産に

- | | |
|------------------|--------|
| 1) 保育を語り合う関係づくり | 保育者同士 |
| 2) 子育てを語り合う関係づくり | 家庭との連携 |

○中間評価と中間点検

2 学期が終了した 12 月 21 日に教諭による中間自己評価自己点検を行いました。三学期への取組の修正や次年度に向けた課題の抽出を行っております。また、年度末に行った自己評価の数値との変化を以下に示します。

「ともに成長できる関係づく

評価項目	取組指標	成果指標	総括評価
子どもとの関係	3.4→3.2	2.9→2.7	3.6→3.7
保護者との関係:	3.4→3.1	3.3→2.7	3.0→3.6
園児との関係	3.4→3.2	2.9→3.0	4.0→4.3

「ひとりの気づきをみんなの財

評価項目	取組指標	成果指標	総括評価
保育を語り合う	2.8→3.0	1.9→1.7	3.0→3.0
子育てを語り合う	2.6→2.7	2.2→2.3	2.9→3.3

産へ」

※指標は 4 段階、評価は 5 段階

○今後の課題

1. 情報共有と連携の強化

職員全体での情報共有の機会を増やし、経験年数に関わらず互いに補い合い、成長できる環境を構築する。

預かり保育との連携を強化し、一貫性のある保育を提供する。

2. 保護者との信頼関係構築

子どもの成長を支えることを目的としながら、令和 6 年度に課題となった保護者との関係性を園全体で取り組む

3. 保育内容の充実

子どもの発達理解を深め、適切な援助方法を学ぶ。

子どもの言葉への興味・関心を育み、豊かな表現力を養う。

多様な体験を通して、子どもの豊かな感性を育む。

子どもの創造性を引き出す環境づくりに努める。

人前で発言したり、コミュニケーションを図る機会を増やす。

子どもたちが思いきり身体を動かせる環境を整備する

(雨天時、晴天時、室内、戸外、異年齢など)。

子どもたちが遊具、用具、教材を選べる環境づくり。

環境構成のあり方を職員全体で共通理解する。

安全安心で過ごせる居心地の良い環境づくり(物的環境、人的環境)。

特別支援児への関わり方の一貫性を図る。
保育のあり方や仕事の支え方を職員間で共有する。
安全管理(不審者対応など)を徹底する。

4. 子どもの成長を促す保育:

相手の気持ちを考える子どもが育つ保育を実践し、相手を思いやる心を育む。

令和7年3月27日

以上、報告いたします。

あかつき幼稚園

園長 村上順滋

○評価委員の意見

昨年度の課題や若い教員が多くなったことなどの実態を考慮し、園長先生を中心として、教育目標の共通理解を改めて行うなど、よりよい保育を目指そうとしている姿勢を感じる。
特に、園児との関わりにおいては、園児としっかりとコミュニケーションをとり、一人ひとりの特性に応じた保育を行っており、保育するものとしての使命感や園児への愛情がうかがえる。また、定期的に行っている「教員による自己評価自己点検」の項目を今年度から細分化したことで、園が行っている保育等の活動をていねいに振り返ることができるようになってきている。これにより成果と課題がよりはっきりとわかり、今後、保育がより充実したものになることが期待できる。

経験年数や教員一人ひとりの意識の違いによって、教員間のコミュニケーションや保護者との連携の仕方に差がみられるので、しっかりと職員間で共通理解を行うとよいと考える。

登園する親子に挨拶をすると、笑顔で挨拶をしてくれる。子どもたちの元気な声が街を明るくしてくれます。笑顔の子どもたちをこれからも育てて下さい。

園長先生を中心として教員全体で問題点や課題点、どうしたら良いかをよく考えられていると思います
保護者家庭とのコミュニケーション、連携は時代のせいにはしたくありませんがやはり苦労され、工夫されている事が伺えます。

通わせている一保護者としての視点ですが前年、前々年に比べ教員の配置やクラス構成、各教員の保護者への関わり方がかなり改善され園への信頼へ繋がっていると思います

園への信頼がまたより家庭保護者との距離を縮め、円滑な連携へと繋がっていくと思います

どうか教員の方々の負担になりすぎずのびのびと保育していただき、笑顔で優しい子供達を育てていただければと思います

令和 7 年 3 月 28 日

評価委員

評価委員

評価委員